



# 大田で夢だった保育士に 矢田桃代さん

みんなが楽しく砂場遊び  
(あゆみ保育園ごと)



「小さい頃から子どもの面倒をみるのが好きで、小学生の頃から保育士になることが夢でした。妹やいとこの面倒もよくみていました」と矢田さんは話します。  
矢田さんは、子どもとかかわる仕事が出来たいと考える中で、幼い子どものほうが日々の成長を感じられると思い、保育士の道を目指しました。

矢田桃代さんは平成28年4月に大田市へUターンして保育士として奮闘中。そんな矢田さんをご紹介します。

大田市で生まれ育ち、親元を離れ、自立を目指して兵庫県の短大へ進学しました。短大では幼児教育を学び、保育士の資格を取得しました。短大での寮生活で、改めて実家のありがたみを感じ、また都会と大田を比べると自然の豊かさや人のあたたかさなど、大田の良さを改めて感じました。

大学生活を送るうちに、卒業後は都会で働くよりも大田に戻って働きたいと矢田さんは考えました。大田市に絞って就職活動を行い、あゆみ保育園(大田市大田町)での採用が決まりました。

現在、保育士1年目の矢田さんは一人前の保育士を目指して奮闘中です。

「大変なことや辛いこともありますが、先輩の先生方のアドバイスや言葉に助けられて毎日楽しく仕事をしています」と保育士の仕事に楽しさを感じながら日々を送っています。

「これからも地元の大田で保育士を続けていくことが将来の夢です。子どもが安心して楽しく過ごせるような雰囲気や居場所を作れる保育士を目指しています」と話す矢田さんの今後の活躍に期待しています。

## 矢田桃代さん (あゆみ保育園)

1歳児の1クラス(2クラス各13人)を担当。高校まで大田市で過ごし、進学を機に兵庫県へ。2年間の兵庫県での生活を経て大田市へUターン。



矢田さんに大田市と都会(兵庫県)を比べて感じたことを聞きました!

大田

良いところ...自然が豊か\*人があたたかい  
食べ物が新鮮でおいしい

困るところ...お店が少ない

都会  
兵庫県

良いところ...お店が多い\*交通の便が良い  
困るところ...あいさつが少ない

